

「新氏族的メシヤ出発」

徐永運地区長

親は、人生で最も大きな影響を与えていきます。親の一言が、子供の人生を左右すると言っても過言ではありません。世界がなぜ偽りの世界になったのでしょうか。たった一人、偽りの親から出発したからです。この世界を収集する平和な世界、統一の世界を築いていく唯一の道は、真の父母に戻る時です。真の父母から初めて新しい生命、私たちが願っている天一国が生じてきます。それが氏族メシヤの出発点であります。

親は子供を愛していても、歪んだメッセージを伝えることもあります。自分の愛ではなく、神様の心情を通して愛していかなければ、真の愛は伝わりません。愛が愛らしくなる為にも最も重要なことは原理であり、まず親が原理に絶対服従しないといけません。私たちが神様という主体の前に絶対服従しないといけないのです。その為にも信仰が必要です。

氏族メシヤとして出発する為には、環境と相手に対して絶対信仰が必要です。人を変えるのに、言葉や信念だけではいけません。人信じてあげないといけません。子供や夫を変えなければ、信じ続けるところに初めて変わっていくのです。私たちの家族、氏族、教会の中、環境圏の中で、それぞれ相手に対してどこまで信じてあげるかであります。

基元節以後、新氏族メシヤ出発する責任とは何でしょうか。基元節までは真のご父母様を中心とする責任分担時代であったとすれば、天一国元年の撰理的定義は、子女の責任分担時代であります。その最初が“絶対信仰”であります。ここから私たちは出発しなければなりません。絶対信仰するには、人を絶対信仰することもあります。まずは自分からです。自分の価値は、自分がどれほど貴い者なのかを知って、初めて人が貴いことも分かります。自分を愛せて初めて、人も正しく愛することが出来るのです。氏族メシヤは、どんな人ですか。天の父母様の神性が宿った人です。メシヤという立場で神様の性資が宿った私の観点から見て、私が何かに葛藤している、人を嫌う、これが本物の自分でしょうか。それは偽りの自分です。神様は私を愛し、信じ続けてきた私であります。故に、人を嫌い、何かに苦しみ不信を抱くはずの自分ではないのです。それに気がつかなければなりません。苦しんでいる私、人を憎んでいる私であるならば“偽りの私よ、立ち去れ！ この気持ち、私ではない。立ち去れ！ 私は誰なのか。私は神の息子娘である。私が倒れていたとしても、一言その人の為に祝福して倒れるべく私である”と、そこに気づく自分でありたいのです。例えば非難を浴びたとして、私からはその人の為に“天よ！ 彼らを許して下さい。そして彼らを導いて下さい”と、この祝福の言葉を遣して倒れるべく私、そのような生き方をすべく私、それが私の使命であることを悟ることによって、氏族メシヤ、歴史の転換が成されていくのであります。

基元節から天一国の新しい出発は、他ならぬ私の中にあるということをお忘れではありません。天の息子娘として誇りをもってどのように私たちが生きたのか、それが天の父母様と天地人真の父母様を証していく天一国元年の歩みであり、氏族メシヤの出発であります。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
 神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2、12月度伝道三日路程が行われました。

12月10日(火)～12日(木)

結果:1位 伏見、2位 北都、3位 京都

3、京都教区クリスマス礼拝

日時:12月22日(日) 11:00～(10:30開場)

場所:ガレリアかめおか

4、京都を愛する書写の会

日時:12月24日(火) 10:30～

場所:京都教会

5、京都教区 清平役事19周年記念特別大役事ツアー

日程:2014年1月17日(金)～1月20日(月)

清平大役事参加、「野牧教会」訪問、市内観光など

6、京都セミナー(二日修練会)

日程:12月28日(土)・29日(日)

場所:サン・アカデミー京都

【1日目】13:30～20:00(13:00受付)

【2日目】10:00～16:00(9:30受付)

7、しあわせ講演会

毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所:サン・アカデミー京都

8、教区全体特別精誠祈禱会

毎週金曜日 21:00～ 場所:京都教会

9、VISION2020勝利の為に基台長及び区域長修練会

日程:12/19(木)～12/24(火)、1/12(日)～1/17(木)

10、清平修練会

12/21(土)～12/23(月)、12/27(金)～12/29(日)

☆1月は、霊肉界家庭出発修練会と清平役事19周年記念特別大役事が行われます。

◆霊肉界家庭出発修練会:1/4(土)～1/6(日)

◆清平役事19周年記念特別大役事

1/17(金)～1/20(月)

全国食口連合礼拝(予定)

4800億絶対善霊と天使たちの総動員役事

全世界食口伝道大会授賞式、聖物抽選イベント

先祖祝福式、先祖解怨式 所願成就祈禱会

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
 of World Christianity Kyoto Church
 世界基督教統一神霊協会

教区長: 武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町6

Tel: 075-313-0539 / Fax: 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP: http://www.uckyoto.org/

式次第



韓半島統一と東北アジア平和のための 2013天一国元年世界指導者前進大会

教会音信 司会者
閉 会 司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

故郷を探して差し上げる孝子・孝女の中心になることを決心しましたか?このように私たちには使命が大きいのに、責任として全て成し遂げるには時間が短いです。ですから、どのようにしなければならないでしょうか?私が以前、教区長会議に行って私が見たお父様の夢の啓示の話を聞いた人はいるでしょうか?天上で平安に休まなければならない方が、失った子女一人でも探し出すために体の状態も顧みられず、それほどにご苦労される姿が私の脳裏から消えることはありません。あまりにもかわいそうなお姿です。今、地上にいらっしゃったなら、どれだけ活発に東西洋を駆け巡られるでしょうか?地上にいる私たちが責任を果たして差し上げなければならないのです。

聖書にもありますね。天国の門の鍵をなぜペテロにあげましたか?地上で責任を果たさなければならないのです。私たちの責任が重大なのに、いかに私たちが墮落圏世界で生活しながら祝福は受けて、どのように生きなければならないのかも知っていますが、生きてきながら染み付いた自己中心、自分の家庭の問題、自分の周辺をかき分けていくことができなくなるという話です。皆さんたちが、もしかしてチョ・ハンジュン菩薩に対する話を知っているか分かりません。私の母方のおばあさんの系統の先祖になる方ですが、その方が国の前に忠誠を立てました。誰もすることのできない国の体面を立てるのにおいて全財産を投入し、その時代にはとても高価な石の橋を架けて、李氏朝鮮の体面を立てた方です。それで天がこの方を祝福しました。あなたの精誠が天に届いたという話です。

それであなたの家門を通して天子を送ろうと思った。しかしこの方が全財産をはたいて石橋を架けた後、小銭が三枚残ったそうです。これを使うこともできず、捨てることもできない状況でしたが、仕事を一生懸命してわら草履がぼろぼろになっていたの、そのお金でわら草履を買ったという話です。ところが、この小銭三枚が天に引っかかったのです。それで「天子の代わりに天女、娘を送ってあげよう。あなたの精誠が天に覚えられた」。そして夢のお告げを見て起きたのですが、突然川岸に弥勒仏が出て来たというのです。石の仏が、それは事実です。おそらくチョ氏の記録に出ています。小銭三枚が問題でした。私たちの信仰生活もそうです。いま私たちが、信仰を持っているという人たちは100%、120%天の前に全部投入したと言える人がいません。チョ・ハンジュンおじいさんよりも劣ります。分かりましたか?

訓読会での真のお母様のみ言 2013年12月1日 天正宮

統一運動

フィリピン台風被害支援に天一国青年宣教師が参加

11月26日から28日までフィリピンのセブ島において、韓国・世界平和統一家庭連合主催で台風被害にあった被災者支援のためのボランティア活動が行われました。この活動には韓国と日本、フィリピンの指導者と青年など100人余りが参加し、フィリピンに滞在していた日本統一教会の天一国青年宣教師も参加しました。

ボランティアに参加したメンバーたちは、事前に食料(米、インスタントラーメン、缶詰など)、ローソク、蚊取り線香、寄付金で準備した支援物資を袋詰めし、現地に向かいました。被災地に到着したメンバーたちは、16,000世帯が台風の被害にあったボゴ市の市長と会い、活動内容について共有した後、被災地域での活動を開始しました。ボゴ市では500世帯に食料を配給し、避難所でも100世帯分の食料を手渡し、被災者と交流しました。

また今回の台風により、タクロバンのセンターリーダーが亡くなったため、聖和式も執り行われました。その他、韓国の教会員が断食しながら集めた義援金20万ドルも送られました(日本統一教会でも12月10日まで義援金の募集を行なっています)。

【参加した天一国青年宣教師の感想】

ボランティア活動では、主に食糧配給をやらせて頂きました。現地の方と交流する中で、生活がまだまだ厳しい状況であるにもかかわらず、私たちに對して笑顔で「ありがとう」と言ってくれ、話を聞いても何も文句も言わない姿を見て、本当に神様はフィリピンを愛しているのだと強く感じました。

